



### 今後の地球温暖化への取り組みと環境展の在り方は

あやせ未来会議 安藤多恵子

#### ●環境問題への取り組みについて

Q 厳しさを増す地球温暖化問題に対し、令和2年度にどのような事業を行うのか。

A 太陽光発電設備や電気自動車への導入などへの助成に加え、さまざまな啓発事業の継続的実施を検討している。

Q 最も大きな啓発の場である環境展を効果的に実施できるように、内容や広報の方法などを見直してはどうか。

A 実行委員会で開催内容や広報を検討し、決定している。開催後の委員会で反省点や次回に向けた意見が出ており、来年度に向けて、内容の充実を検討していきたい。

#### ●綾瀬っ子の未来に向けて

側面的支援をしていきたい。



1月13日、「成人式」が開催されました<綾瀬市オーエンス文化会館にて>



### 整備した遊水地の検証と新たな避難場所の確保を

あやせ未来会議 石井 麻理

#### ●上土棚地区における台風19号避難行動検証と今後の避難行動について

Q 遊水地は、台風19号でどのような効果があったか。

A 水深約55センチ、約6千立方メートルの貯留を確認した。遊水地への流入により、比留川が越水せず、周辺に浸水などの被害がなかったため、有効に機能したと考えている。

Q 車両で避難する場合、上土棚地区には、道路の冠水で避難所への避難が困難な住民がいる。避難場所として、藤沢市のいすゞ自動車株式会社社に協力を依頼しないか。

A 民間企業を避難場所として指定する場合は、災害協



### 外国人市民との共生のまちづくりはどう取り組むか

あやせ未来会議 佐竹 百里

#### ●外国人材の受け入れ対策の充実や課題また支援体制について

Q 国は、新たな在留資格である特定技能制度を導入し、外国人材の受け入れに大きくかじを切った。本市でも、外国人市民との共生に向け、総合的な対応策が必要と考えるが、どう取り組むか。

A 言葉の壁の解消による共生と活躍の推進のため、やさしい日本語を活用している。今後は、生命に直結する可能性のある分野で多言語対応を推進する。医療分野は、多言語医療問診票に加え、医療ニーズに対応するツールの導入を、防災分野は、安全・安心メ

ールの多言語語化を研究する。

●抗がん剤治療や造血幹細胞移植等で免疫がなくなった児童・生徒へのワクチン再接種の補助を求める

#### ●抗がん剤治療や造血幹細胞移植等で免疫がなくなった児童・生徒へのワクチン再接種の補助を求める

Q 小児がんなどの病気の治療により、ワクチンの再接種が必要になった子どもたちに対し、助成を行わないか。

A 再接種は、健康被害救済の観点から、国での実施が望ましいと考える。県は、市町村の意見を聞き、速やかに支援できるように取り組むとしており、説明会も開催する。県の動向を踏まえ検討したい。

Q 県が、支援策を具体的に示した場合、市は、速やかに支援に取り組むのか。

A 県による説明会の内容や支援策を確認しながら、前向きに検討していきたい。



### 県の特定不妊治療助成に対する上乗せを行わないか

新政会 笠間 功治

#### ●不妊治療費用の助成について

Q 市は一般不妊治療へ助成しているが、より経済的・身体的に負担の大きい特定不妊治療へは、県が助成している。県の助成に上乗せをしては。

A 一般不妊治療への助成は、県内では本市を含め4市町で行っている。早期の不妊治療で妊娠に至る方も多く、一定の効果があると捉えているため、県の助成への上乗せは、現時点では考えていない。

Q 不妊治療の現状など、国の統計に基づく知識を、学

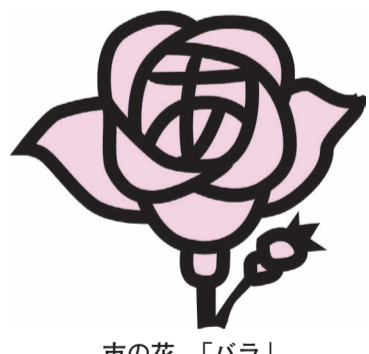
校での性教育の授業で教えるべきと思うが、市の考えは。

A 性教育は、児童・生徒の発達段階や性への受容能力を十分考慮する必要がある。保護者などの理解を得ながら、学習指導要領にのっとった慎重な指導が必要と考える。

●小学校入学後の一年生の給食開始時期について

Q 現在、小学一年生の給食は5月に開始している。パ

ートタイムなどで働く方は、給食が提供されない間は昼食を作るため、働く時間の確保



市の花 「バラ」

#### ●抗がん剤治療や造血幹細胞移植等で免疫がなくなった児童・生徒へのワクチン再接種の補助を求める

Q 小児がんなどの病気の治療により、ワクチンの再接種が必要になった子どもたちに対し、助成を行わないか。

A 再接種は、健康被害救済の観点から、国での実施が望ましいと考える。県は、市町村の意見を聞き、速やかに支援できるように取り組むとしており、説明会も開催する。県の動向を踏まえ検討したい。

Q 県が、支援策を具体的に示した場合、市は、速やかに支援に取り組むのか。

A 県による説明会の内容や支援策を確認しながら、前向きに検討していきたい。

●抗がん剤治療や造血幹細胞移植等で免疫がなくなった児童・生徒へのワクチン再接種の補助を求める

Q 小児がんなどの病気の治療により、ワクチンの再接種が必要になった子どもたちに対し、助成を行わないか。

A 再接種は、健康被害救済の観点から、国での実施が望ましいと考える。県は、市町村の意見を聞き、速やかに支援できるように取り組むとしており、説明会も開催する。県の動向を踏まえ検討したい。

Q 県が、支援策を具体的に示した場合、市は、速やかに支援に取り組むのか。

A 県による説明会の内容や支援策を確認しながら、前向きに検討していきたい。

### 議会用語の

### ミニ知識

#### 「本会議と委員会」

#### 委員会

議会の会議には、大きく分けて本会議と委員会があります。

本会議とは、議員全員で構成する会議のことをいい、年四回二月、六月、九月、十二月に開催され、必要に応じて臨時会も開催されます。議会としての権限や能力は本会議に認められるもので、議会の議決、承認、同意などは、この本会議で行わなければ法的な効力はありません。

これに比べ委員会は、議会の内部組織として、議員の一部をもって構成する会議のことをいい、議会の運営を協議する議会運営委員会の他に綾瀬市には、三つの常任委員会と基地政策特別委員会があります。これらの委員会は、本会議での審議の予備的審査、調査機関として設置されるものです。

